

大阪産業人材育成戦略の概要と重点施策

～産業振興と一体となった人材育成・確保～

基本コンセプト 世界をリードする大阪産業の持続的発展を支えるための人材育成・確保 誰もが能力を発揮し安定就労を目指すことができる人材育成

戦略の柱

I 成長産業を担う人材、企業のイノベーションを促進する人材の育成・確保

- 成長が期待できる分野(新エネ、バイオ等)の人材育成・確保
- アジアを中心としたグローバル化に対応できる人材育成・確保

II 産業基盤であるものづくり分野の人材育成・確保

- 優れた技術・技能の継承
- 中小企業に対する人材育成支援

III 雇用のボリュームゾーン(介護・福祉分野等)を担う人材の育成・確保

- 介護・福祉サービス人材の育成・確保
- コミュニティ・ビジネスの創出による働く場づくりとスキルアップ

IV セーフティネット機能としての人材育成・支援

- 就職困難者に対するきめ細かな支援
- 障がい者の雇用促進とスキルアップ

V 社会経済情勢の変化に対応した人材育成・確保

- ハローワーク移管を見据えた人材育成・確保
- 企業ニーズの把握

アクション1 中小企業の人材育成・確保支援の機能強化

- JOBカフェ事業の充実等により、中小企業の人材育成・確保支援の機能を強化する。
- 総合労働事務所において、中小企業の労働環境の向上を図る取組を進める。

アクション2 介護・福祉人材の育成・確保

- 介護・福祉サービスの需要増に対応するため、人材参入促進段階、就職段階、定着段階にわたり人材の育成確保事業を展開する。[5年間で25,000人目標]

アクション3 地域資源を活用した新たな福祉サービスの構築

- 公営住宅(府営住宅等)や商店街等の空き住戸・店舗等を活用した新たな福祉サービスビジネスモデルを構築し、雇用創出につなげる。

アクション4 OSAKAしごと館の充実

- 大阪における雇用実態把握調査の結果から見てきた課題に対応する施策展開、産業施策と連動した地域雇用の確保・支援を行う。

重点施策

横断的取組

I 産学官連携の充実強化

- 人材育成・確保をテーマとした産学官連携の強化
- 人材育成施策・資源のネットワーク化

II 技専校の機能の充実、委託訓練事業の充実

- 地域における人材育成の拠点化(北部、東部、南部)
- 在職者に対する職業能力開発の強化
- 産業人材育成を見据えた職業訓練の展開

III キャリア教育の推進

- 学校教育におけるキャリア教育の推進
- 企業と連携したキャリア教育の推進
- 地域と連携したキャリア教育の推進

アクション5 若者のキャリア形成と中小企業とのマッチングを支援する仕組みづくり

- 大学や中小企業等の参画を得た産学官のネットワークを構築し、地域における若者のキャリア形成と中小企業とのマッチングの取組を促進するなど、次世代人材の育成・確保を図る。

アクション6 企業ニーズを踏まえた府立高等職業技術専門校における人材育成の推進

- 北部校(仮称)[枚方市]、東大阪校[東大阪市]、南大阪校[和泉市]の3校を、それぞれ特色を持たせた産業人材育成拠点として整備する。

重点施策

PDCAによる進行管理

- 毎年度、具体的施策をまとめたアクションプランを策定
- 可能な限り数値目標を設定し施策効果を検証

戦略の推進期間

平成24年度～平成28年度
(5年間)

推進期間中の人材育成数 50万人程度

- 成長産業を担う人材、企業のイノベーションを促進する人材 12万人程度
 - 産業基盤であるものづくり分野の人材 10万人程度
 - 雇用のボリュームゾーン(介護・福祉分野等)を担う人 21万人程度
 - その他の分野の人材 7万人程度
- (官民の人材育成機関による育成予定数)